

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

「過大・過密」解消に向け新校設置計画の具体化 老朽化した校舎等の早期改修 深刻な教室不足の実態などを訴え

課別交渉

(施設財務課・支援教育課・保健体育課)

1月31日、大障教は施設財務課・支援教育課・保健体育課との課別交渉を実施しました。交渉には13分會から25人が参加し、学校の適正規模・適正配置等による教職員の負担軽減・深刻な教室不足の実態・老朽化している危険な校舎やプール等の施設改修等の必要性について、現場の実態を具体的に示して改善を求めました。交渉での主なやりとりを紹介します。

老朽化した校舎やプール改修等による負担軽減

高槻支援学校分會は、小学部低学年棟における照度の極端な低さや排水の問題をはじめ、プールの老朽化によって生じた危険箇所にマークをつけ、子どもたちが近づかないようにしている実態を訴えました。

西淀川支援学校分會は、配水管が慢性的に詰まって修理代が学校予算を圧迫していることや、プールの塗装が剥げて皮膚に付着し、塗料が水に溶け出している実態を訴えました。

中央聴覚支援学校分會は、幼稚部・寄宿舎・高等部棟の老朽化に



高槻支援学校分會 中村さん



西淀川支援学校分會 朝田さん(右)と中央聴覚支援学校分會 朝妻さん

より、雨の染み出しなどが改善されないことや、故障したエアコンが修理されていないこと、寄宿舎に男女別の浴室が無いために入浴指導に支障をきたしている実態を訴えました。

施設財務課は、今後の施設・設備の老朽化対策については、府立学校施設整備方針に基づいて、平成28年度から平成30年度の三か年で、すべて

聴覚支援学校高等部普通科生徒の遠距離通学解消



生野聴覚支援学校分會 近山さん

た。また、保護者からも「なぜ中央聴覚の普通科に行けないのか?」との苦情もあり、進路指導に苦慮し教員の負担が増えている実態を訴えました。支援教育課は、現在のところ通学区域割の変更予定はない。今後は大阪府域も含めて安全面や通学時間をふまえ、総合的な観点から方向性を検討していくと説明しました。

学校の「過大・過密」解消等による教職員の負担軽減



東大阪支援学校分會 杉本さん

東大阪支援学校分會は、八尾支援での中学部生徒の増加により、中学生が小学部仕様の教室に入らざるを得ない実態や、学年集会を行える広めの教室を問仕切つてホールムとして使っている実態を示し、東

大阪市内への学校建設を訴えました。校方支援学校分會は、特別教室10教室の転用に加えて、併設するむらの高等支援と共有している特別教室もあつて、授業がしにくい実態を示し、根本的な解決のためにも学校建設が必要だと訴えました。

支援教育課は、将来推計の結果を踏まえ、東大阪・北河内を含めた今後の教育環境のあり方について、各校の状況把握も行いながら、平成29年度中を目標に対応策の検討を進めている」と説明しました。これに対して参加者からは「なぜ『新校の設置』が抜けているのか?」「学校建設以外にどのような対策があるのか?」などの怒りの声が上がりました。



枚方支援学校分會 佐々木さん

の支援学校の施設・設備の劣化度調査を実施し、中長期保全計画等を作成したうえで、順次施設の改修等を進めていく予定。緊急性の高い対策については、必要な対策を講じていくなどと説明しました。また、中央聴覚の老朽化対策については、現地建て替えはできないと認識している。学校のあり方も含めて支援教育課と協議していきたいなどと説明し、故障したエアコンについては、今年度中に対応したい」と説明しました。

(裏面に続く)

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



最高時速500キロ、夢の超特急などもはやされるリニア中央新幹線は、2027年に東京(品川)・名古屋間の開業をめざし、45年には大阪まで延びるとされています。安倍政権はこの事業を「国家的プロジェクト」と位置づけ、事業主体のJR東海に、3兆円の公的資金を平均0.8%の超低利で貸し付けました。しかし、リニア工事をめぐっては、大手ゼネコン4社(大林組・鹿島建設・清水建設・大成建設)による談合の疑いで、東京地検特捜部と公正取引委員会が捜査しています。この4社は、自民党に2012年から16年までの5年間で各社ほぼ同額の6800万円余づつを献金しており、建設を強力に後押しする安倍政権との関係も注目されるところです。

国会では、公金3兆円の貸付主である独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄運機構)が、一件ずつの工事予定価格・契約内容・発注価格・入札調書等を精査せず、必要に応じて確認している「だけだったことが明らかになりました。さらに鉄運機構には、JR東海の職員が直近の5年間だけで18人、現在3人勤務していることも政府は認めています。チェックされる側が、チェックする側に入り込むなど、手心を加えている」と疑われても仕方ありません。

そもそもリニア新幹線建設は、採算性も環境破壊の影響もまともに検討されないまま進められてきました。沿線の住民からは、工事の認可取り消しを求める訴訟も起つています。公金3兆円が食い物にされた疑いがさらに深まった今、工事の中止と徹底した真相解明が求められます。

(表面よりの続き)

通学バスの更新に関わる負担増への対策

生野支援学校分会は、校内の通学バスの駐車スペースが狭いため、現在でもバス1台を公道に停めて子どもたちを降ろさざるを得ず、「教員が当番制で安全確認を行って」と述べました。



生野支援学校分會岡田さん

次年度の乗車人数の見込み等、各学校の状況を踏まえながら、通学バスの増車や車両の大きさ、座席数等の仕様変更も含めた検討をしている。「児童生徒数の問題でもあるので(今後の教育環境の)あり方の中で検討していく」と説明しました。

障害児学校の実情にあった

栄養計算ソフト購入等による負担軽減

栄養教員部は、「他校の給食献立を導入する際のパソコン入力負担軽減や、段階食にも対応できるように、独自の栄養計算ソフトを作成できないか」と訴えまし



栄養職員部 武田さん

た。保健体育課は「(給食実施に係る)消耗品や備品などについては」衛生面での必要性なども考慮しながら、緊急性の高いものから順次、購入をしている。「府の財政状況は依然として厳しい状況だが、学校給食の円滑な運営が行われるよう努めてまいりたい」と説明しました。

全国障害児学級・学校交流集会に参加して(感想その3)

子どもと一緒に「快」の体験を共有する

性教育について、今までは私の中の優先順位は低く、心と身体の学習は体育の先生が担当するだろうか、まあいいかと思っていました。でも毎日の指導の中で、こいついつどつなんだろう?とか、心と身体の学習は体育の先生だけがやるものでもないんじゃないか?と思うようになり、今回は性教育の講座に参加しました。千住先生のお話は以前から気にはなっていたものの、今回初めてお聞きしました。

性教育について、まだまだ学びも実践もできていないですが、今回のお話を聞いて自分でもできること、子どもと一緒に「快」の体験を共有するところから始めてみようかと思えます。

先生方の発表で、いろいろな工夫とともに、毎日一生懸命とりくまれている話を聞き、私もがんばろうと思えました。皆さん楽しんで実践されていて、そういう気持ちがとても大切で、あることを思い出しました。三木先生の言葉は一つ一つ、はっとしました。自閉症の子は同化させられることばかりと言われていること、確かにその通りで、毎日決まったことばかりに従

子どもの思いを受け止めることを大切に

わせようとしているなと思いました。けれど、社会のルールを教えることも大切で、難しいとも感じました。子どもの思いを受け止める、聞くことを大切にしていきたいと思いました。

(撰津支援学校分會 阿部理愛)

トイレが温かくなりました!

交野支援学校四條畷校

本校は古い高校の校舎をそのまま使っているため、支援学校としては不都合なところが多く、毎年行っている要求アンケートでも施設設備の改善が一番多くなっています。中でも「トイレを使いやすく、清潔に!」というのが長年の強い要求で、分会からも毎年要求していました。

2017年の夏、そうした保護者と教職員の願いが叶い、3箇所のトイレの全面改修が行われ、洋式トイレが増え、きれいになりました。ところが、便座が冷たく、寒くなるにつれ「冷たい、どうにかしてほしい」という声が、生徒や教員、参観で来校された保護者からも多く聞かれるようになりました。

分会では、要求アンケートをもとに管理職との懇談を持ちましたが、そこでもそれらの声を伝え、少しずつでもよいから、温便座をふやしてほしい、と強く要望しました。その後、事務室や管理職にも尽力いただき、新しくなった洋式トイレ全部に温便座がつかまりました!!

「座っても冷たくない!」「感激!」の声が多く聞かれ、みんな大喜びです。

(四條畷校分會:大島敦子)

